

2019年8月19～21日道南調査

1日目

安平ドングリハウスの林道入り口で道内長期遠征中の辻氏と会い情報交換

辻氏確認のゴイシポイントへ。



ああ、いるいる、と近づくと葉の裏からたくさん飛び出してしまう。



卵がアブラムシのコロニー近くに産み付けられていた。

コチャの終齢の巣がたくさんついているので2化目の蛹を探したくなる。少し林床を探すが見つからない、葉についている巣に糸を掛けてみようという提案。辻氏がやってみることに。

昼前に道南に出発。途中S氏邸に寄って孵化したダイミョウをもらう。

時間節約で途中から高速を使う。しかし高すぎる。落部で降りて、R67で厚沢部に向かう。天気はまだ大丈夫。

厚沢部の手前で休憩がてら水田脇の道に車を入れる。おや、もうヒメジャコウ登場。次々出てくる。いきなり♀が探草行動。ちょっといんでないかい。





おっと、葉に止まって腹を差し込んで産みだした。



産み終わったみたい。どれどれ、と、葉をめくる。



あれれ、葉には別の子供たちがついていました！このイネ科が好きなようだが、雑草群落の中では稀な種類。根っこからサンプリングする。

たくさんあるエノコロ系ではない。葉はササのような感じ。葉鞘に長毛がある。花がついていないので、今のところ不明。

ここでは。シートが道端に飛んでいた。ネットを取りだして、やっと1頭捕獲。雌だと思って産卵ケースに入れる。(あとで♂と判明)道端にハルニレの小さな木がたくさんあり葉が食われているのでこれで発生か？車をとめたところの林縁にカラハナソウが被さっていたので卵でもついていないかと探してみると、脱皮殻がある。食痕もあるので本格的に探すと、ほどなく終齢発見！卵卵としつこく探すがNULL.でも課題のシートだ。幸先イイネ。



かなり満足したので、温泉に行こう！と俄虫温泉へ。気分よくビールが飲みたくなったので厚沢部道の駅で落ち着くことに。夜中に雨が降ってくる。

2日目



朝起きると雨は止んでいたのので、近くの乙部方面を調査。逆川キャンプ場から姫川の方面は昔ダイミョウの産卵写真やヒメジャノメをたくさん見たところ。いい感じのオニドコロの林縁はあるが、けっきょくNULL.エゾヒメシロを見る。コムスジ、ツバメ、ルリシが多い。

貝小沢公園に移動。オオミスジの若齢の写真撮る。相変わらずアブラゼミ、ミンミンゼミが飛び回っている。





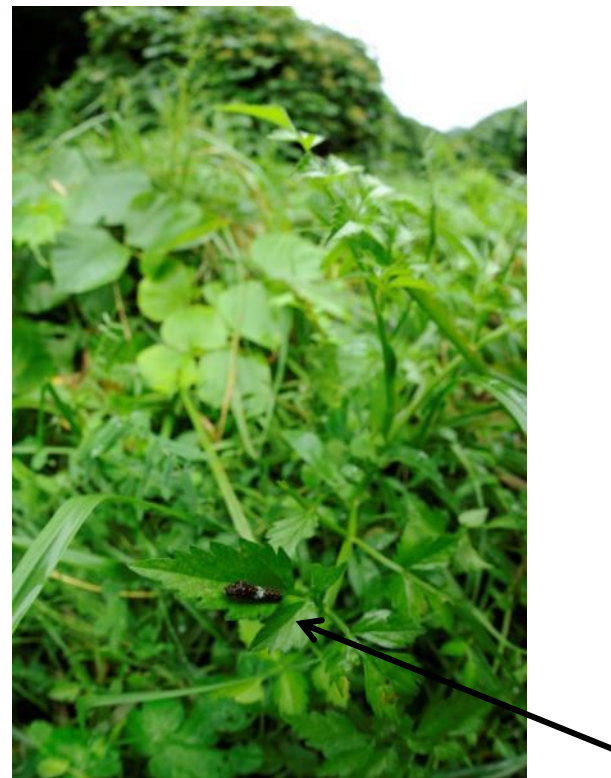
次に上ノ国へ行く途中に江差でダイミョウ卵を探すことにする。

いつものようにちょっと迷って現地到着。広場の左側から入る道を歩いてみる。間もなく幼虫の巣を発見、そばに2個の空いた巣、3齢かな。お持ち帰りする。

卵がついていそうな若い葉を探すがついていない。ややオープンになったところでまた3齢の巣。コムスジが飛んでいる。クズにカーテンがついていたが幼虫は見られない。雨が降り出す。雨具を着て粘るが断念して江差で昼食(にしんそば)。



上ノ国に入るが、雨がだんだんひどくなって来る。とりあえず道の駅へ行って見る。定休日。駐車場で昼寝を決め込む。雷が鳴って、クリッパー君が滝に打たれるようなすごい雨(クリッパー君きれいになる)。5時頃雨がやみかけてきたので、ミヤマカラスシの林道へ行って見る。例のクロウメモドキはクズに覆われて枯れた枝も多くなっているの太い弦をのこぎりで切断。卵は枝がちょっと濡れているの探すのをすぐやめて、近くの道をうろうろする。ここでもヒメジャ君に遭遇。スイカズラとタニウツギにイチモンジの巣(不在)。沢に降りる道のどん詰まりにスモモの木。オオミスジNULL。セリにキアゲハ幼虫。キハダがあったり、クサギの花が咲いていたり、天気良ければ面白そうなところだと思う。花沢温泉に行くが、これまた定休日。夕日の見える道の駅で夕食、晩酌モードへ。



3日目



朝起きると薄曇り。7時、だいぶ慣れてきた車中泊の朝食を済ませ、最後のミッションとしてゴマダラポイントへ向かう。

最初にSさんの新ポイントを覗いてみるが、場所はわかるがエノキは不明。雨で下草がびっしょり濡れているのでやぶ漕ぎはやめる。ツバメシジミが濡れたツタの上にはいっぱい止まっている。今日使う300mmで撮ってみる。

さていつものエノキ斜面に入っていく。

天気は薄曇り、チョウはあまり飛んでいない。とりあえず下の方の枝をチョコチョコ少し落としてみる。ハムシの食害がひどい。きれいな葉を落とすと、1齢幼虫が葉の上に。へえ〜と撮影。枝を下からのぞいて待っているとゴマダラ飛来。



ヒグマ遭遇



たまに飛んでくるゴマダラは、レンズを構えるもすぐに去ってしまふ。♂の様だ。岩場にしゃがんでじ〜っと待つ。

すると、左の方から岩が崩れ落ちる音。何？蝶屋が来た？と道を見るが車は無し。動物か？岩を崩すということはシカではない？「コーッつ」とこっちから吠えてみる。反応なし。

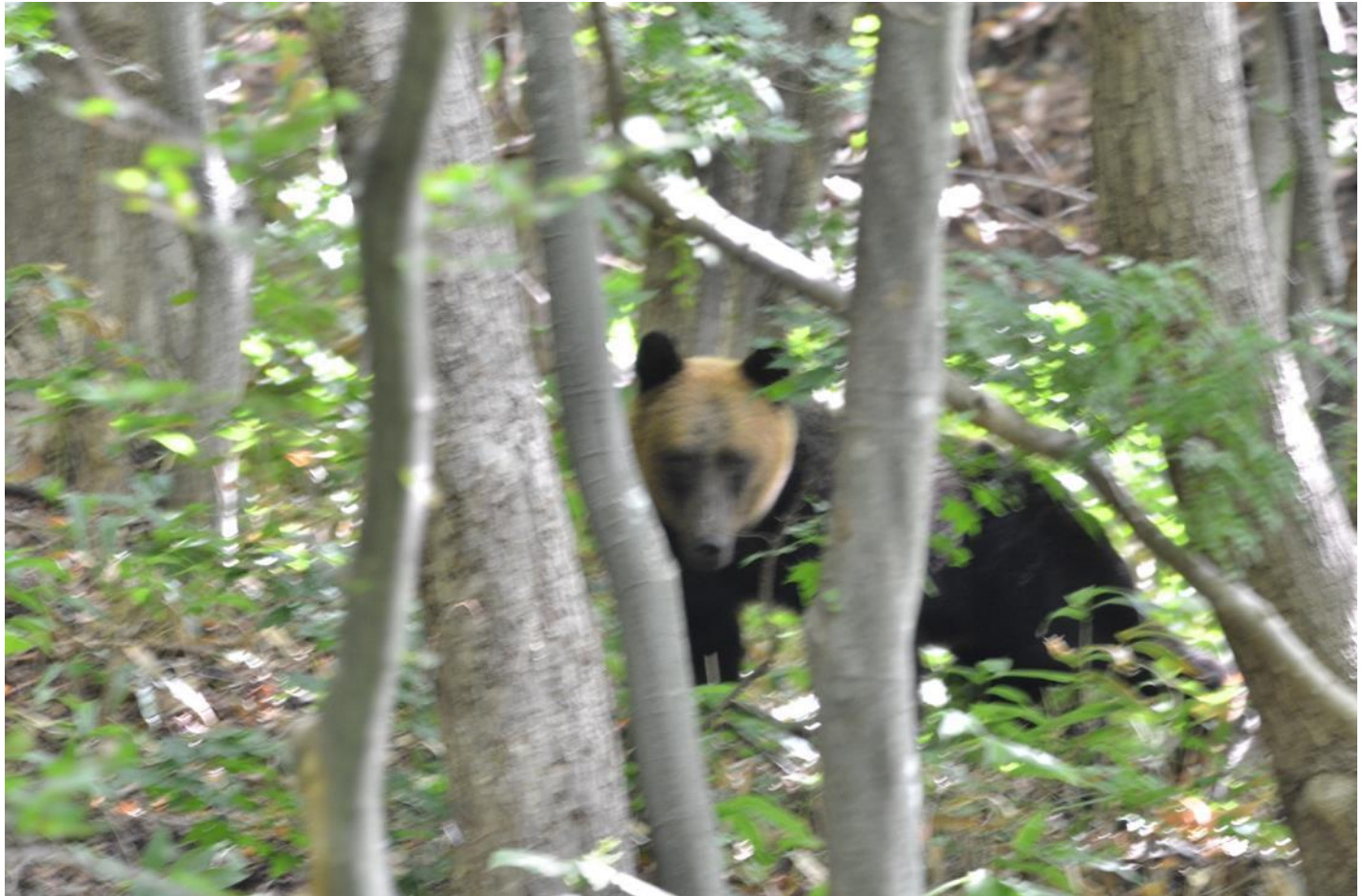
気を取り戻しカメラを構え、エノキの枝先を見ていると。何やら左の視界の隅に動く物体。見るとデカイクマが歩いている！！。「ギョエーツツ」岩場の端っこで結構近い距離(30m?)。

本能的(?)にカメラのレンズを向ける。パシャと撮るとこっちを見る。目が合う。「いやいや何もしませんから、}とシラを切っていると、そうですかと、斜面を1歩1歩登りだす。このまま行ってくださいよと思っているとそのまま崖部から樹林帯に消えていく。

やれやれ。まあ、もう来ることはないよなと思いつつクマの方角に背を向けて座っても落ち着かない。すぐに逃げ出す位置まで降りて最後の枝を落とすと卵が2個ついている。アップで見ると透明？まあいいかとミッションを終了させる。

300mmレンズがゴマダラではなくクマを撮影するとは…。ではその画像を。

写真はご覧のとおり、思いっきりぶれていた。写真歴50年の経験も手振れを起こしてはいけません。わきを締めなきゃ、前のページのツバメシジミも同じレンズなのですがねえ……。でも迫力だけでも伝わってくれるといいのですが。そういえば、辻氏も岩が崩れる音を聞いたとか、エノキの根元に糞があったとか……。あそこはチョウ屋だけではなくひぐま氏のテリトリーでもあったのですね。私の顔は覚えられたのかな？これから単独行では気をつけましょう。



10時ころ退散。S氏のヒメジャポイントはスルーして、厚沢部ナガモリポイントへ移動。途中厚沢部の道の駅周辺で昼飯調達。道の駅のコロッケ(170円)はうまかった。さすがメイクイン発祥の地。(クワガタの里でもあるらしい。由来は不明。)途中良さげな道に数か所入りながら昼食。とくに目立った蝶はいない。1昨日のポイントへ。天気は薄曇りでまずまずなのだがヒメジャ君はあまり飛ばない。時間帯なのかな。シータもない。しょうがないのでカラハナソウで探すが、卵はみつからずに、1齢幼虫を発見、お持ち帰り。なんだか変な発生状況でした。あとはエゾスジグロとスジグロが同所的に産卵行動を見せていました。このアブラナ科なんだべ？



13時過ぎに道南を離れる。途中S氏邸に寄り、シータ終齢幼虫、ゴマダラ卵を奥さんに渡す。眠気に襲われながら、辻氏がコチャ幼虫の巣に糸を掛けたというゴイシポイントへ。ピンテが4か所あって、巣には糸がまだぶら下がっている。まだ切り落としていない。ゴイシは相変わらずチラチラしている。ちょっと撮影。幼虫はよくわからない。完本の兄さんの様な写真を撮りたいのだが……。写真はササの葉の裏の♂と♀。TG5に兄の遺品のテレコンつけて撮りました。ということで富良野へ。



ということでした。

T, Nagamori